

校長室だより
NO. 6
令和元年5月7日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

令和を生きる子どもたちを育てる

いよいよ新しい「令和」の時代となり、令和元年度が始まりました。「令和」は、『万葉集5巻』に収録されている「梅花の歌」の序文から引用されたということです。

「初春令月 氣淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香」

(初春の令月にして 氣淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す)

意味は、太宰府長官のおおもものたびと 同伴旅人が梅花の宴を開いたとき「初春のよい月で、大気もよく風も穏やかになり、梅の花は鏡の前に座る美女たちが化粧に使う白い粉のように白く開き、蘭は身にまとう装飾品の香りのように薫っている」となります。そこから、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるようでありたいとの願いが込められています。梅の花が詠まれ、梅園小学校にも直接かかわるようで、身近な感じがしてきます。令和を生きる子どもたちにとっても、梅園小学校にとってもよい時代になることを期待したいものです。

さて、新しい年度がスタートして1か月になります。そろそろ学級・学年に慣れてきたところです。そんな中で、教師は子どもたちを育てようと思いや願いを持って取り組んでいます。今回は、そんな姿を指導記録から紹介します。



1年生を迎える会・かぶとのプレゼント

○ 5年の学級担任の指導記録

今年の学級は、とにかく発言ができる学級にしたいので、その一歩として、学級開きで「教室はまちがうところだ」という本の読み聞かせをしました。本は黒板の上に置き、ことあるごとにその本に注目させて「教室はまちがうところだよ」「まちがってもいいんだよ」と言い続けています。発言しやすい学習内容の時は、多めに時間をとってとにかく子どもたちの発言を引き出し、名前マグネットとともに板書をしています。そして、子どもたちの発言で埋まった黒板を見て、「今日もたくさんの子が発言できてよかったよ、すごいよ」とほめるようにしています。今のところ、道徳の授業で20名ほどの子が発言できたことが一番多いです。家庭訪問で、ある子が「今年のクラスが一番たくさんの子が発言している」と言ってくれたことが嬉しかったです。今後も発言しやすい学級の雰囲気を持続しながら、私からの発問が子どもにとって発言しやすいものであるように意識していきたいと思います。

○ 6年の学級担任の指導記録

授業参観は、子どもたちの発言意欲が本当にすばらしく、社会科の授業で32人の子が手を挙げて発言しました。指名されないと、「あ〜」とため息をついたり、「○○さんに質問」と友

達の意見にかかわらず意見を言ったりしていました。4月のこの時期にこんなに意欲的に発言ができるクラスは初めてのように思います。授業参観に向けて少しでも自信をもたせてあげたいと思い、ノートの意見に花丸を付けたり、「いい意見！自信をもって！大丈夫だよ」などと少しでも勇気が湧いてくる言葉を書いてみたりしました。教師の期待に応えてくれる子どもたちに、早くも愛がいっぱいです。これから、もっともっと一人一人の成長を支えていってあげたいです。保護者懇談会も笑顔いっぱいでした。よいスタートが切れたかなと思います。

○ 特別支援学級の学級担任の指導記録

授業参観に保護者の方が全員来ていただきました。親子で傘袋ロケットを作って飛ばしました。ロケットを親子で作って、よく飛ぶように子どもと一緒に工夫し、何度も飛ばす練習をして繰り返すたびに、どんどんと遠くに飛ばせるようになりました。子どもたちのたくさんの笑顔と、温かく見守る保護者の方の顔がありました。学級懇談会でも保護者の方に、自分のお子さんのよいところをお話してもらった時間を設けました。保護者の方から子どもたちのよいところを聞いたときに、子どもを思う保護者の方の愛を感じました。それで、心が温くなりました。どの子どもも大切な子どもであることを改めて感じることができ、気持ちが引き締まる思いで背筋が伸びるようでした。保護者の方にも一人一人お話いただく機会をもったことで、教室の中がアットホームな雰囲気に包まれるのを感じました。授業参観と懇談会は、学校と保護者をつなぐ大事なチャンスだと思いました。



傘袋ロケット飛ばし

上の指導記録から、どの学級もよいスタートが切られたことが分かります。まず、5・6年の学級担任の指導記録に共通して言えることは、子どもの発言力を育てようと、一人一人の子どもを大切にしているということです。まちがいをみんなで認め合う雰囲気をつくっていたり、よさをさらに引き出し伸ばす方法を工夫していたりして、教師が切なる思いや願いを持って子どもたちに働きかけています。そして、子どもたちも、その教師にこたえ、たった1か月ですが、どの学級の子どももがんばろうとしているようです。そのことは、どの学級のどの教師も、どの子どもも気持ちは同じです。やはり子どもは、教師が育てたように育つのです。



絵をかく会

また、特別支援学級の学級担任の指導記録から、学級の雰囲気よさがとても伝わってきます。何ともうれしいものです。教師も保護者の皆さんも子どもをよりよく育てたいという気持ちは同じです。互いが、子どもについて語ることで、気持ちのかかわり合いができ、互いが思いを新たにしています。それが家庭と学校が連携して教育に取り組んでいくということだと思います。今後が楽しみになります。

子どもが楽しみに仲良く登校する学校、また、時に歯を食いしばって目標に向かってがんばる学校にしていきたいものです。